

都市再生整備計画 事後評価シート
半田乙川地区

平成28年2月

愛知県半田市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	愛知県		市町村名	半田市		地区名	半田乙川地区			面積	500.6 ha		
交付期間	平成23年度～平成27年度		事後評価実施時期	平成27年度		交付対象事業費	1,015百万円	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 下水道(半田乙川中部土地区画整理地内)、高質空間形成施設(河川修景施設整備事業)、高次都市施設(地域交流センター・乙川地区地域交流センター)、土地区画整理事業(半田乙川中部土地区画整理地内)										
		提案事業	地域創造支援事業(地域防災施設整備事業、下水道事業・半田乙川中部地区、土地区画整理事業・半田乙川中部地区、学校用地取得事業・乙川中学校)										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名 地域生活基盤施設(地域防災施設・放送施設(防災行政無線整備))			削除/追加の理由 「地域の元気臨時交付金」で実施するため削除(関連事業へ移行)			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響 関連事業として実施するため、指標への影響はない				
		提案事業	-			-			-				
	新たに追加した事業	基幹事業	高次都市施設(地域交流センター・上池公民館)			乙川地区内北部において、施設整備の必要性が生じたため、コミュニティ空間の充実を図る本計画内事業として追加			追加による指標への影響を考慮し、従前値・目標値を再精査した				
		提案事業	-			-			-				
交付期間の変更	当初	平成23年度～平成27年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-							
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	自然環境の保全に対する満足度	pt	-0.06	H21	0.01	H27		0.027	○	あり なし	土地区画整理事業と一体的に河川修景施設整備を行うとともに、4号(乙川)公園や多自然型護岸も整備され、自然環境の保全に対する満足度の向上につながった	-
	指標2	居住人口	人	27,173	H21	27,800	H27		27,635	△	あり なし●	土地区画整理事業の進捗とともに、土地区画整理事業区域内の人口は増加しているが、都市再生整備計画地区内では目標を達成するだけの引き上げには至らなかった	平成28年4月
指標3	地域交流センター利用件数	件	1,456	H16	2,200	H27		2,938	○	あり なし	土地区画整理事業等の都市基盤整備と一体的に地域交流センターを整備することにより、地域交流センター利用件数の増加につながった	平成30年4月	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	その他の数値指標1	土地区画整理事業地区内人口	人	1,570	H21				2,384			土地区画整理事業、下水道事業、拠点施設等の一体的な整備により、良質な住宅・宅地が供給され、人口定着が進んだ	平成28年4月
	その他の数値指標2												
その他の数値指標3													
4)定性的な効果発現状況													
5)実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等		
	モニタリング					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					● ● ●		
	住民参加プロセス					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					● ● ●		
	持続的なまちづくり体制の構築					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					● ● ●		


様式2-2 地区の概要

半田乙川地区(愛知県半田市) 都市再生整備計画事業の成果概要

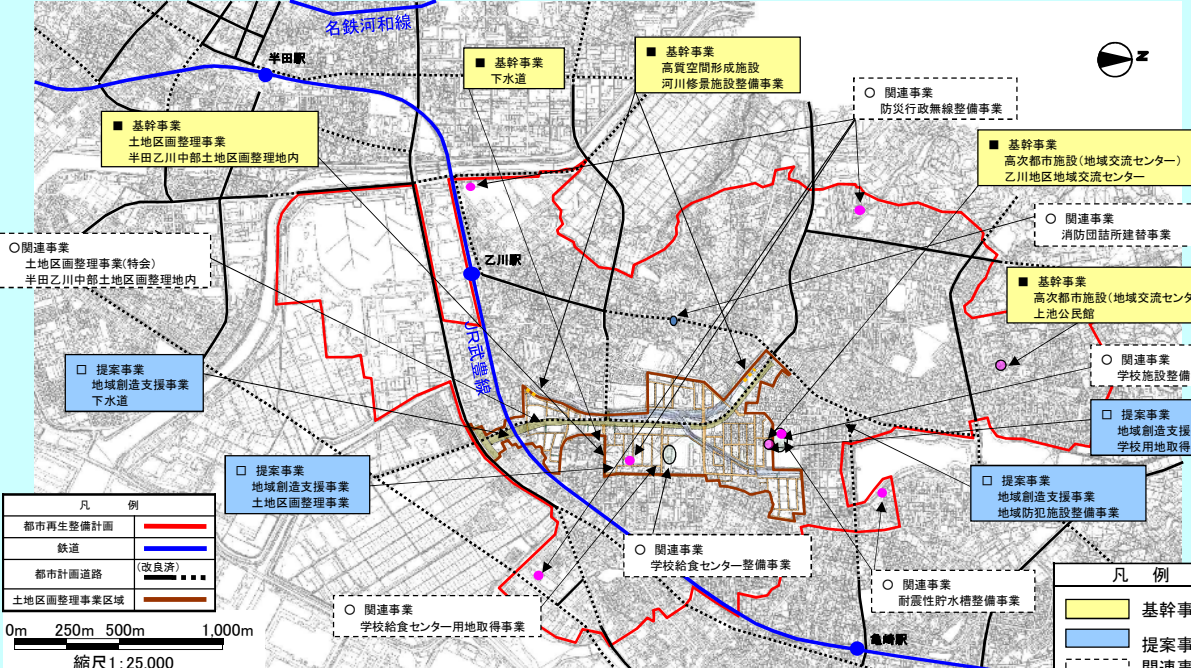
まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値				
大目標：豊かな環境と共生できるやわらかなまちづくり ○身近に水や緑とふれあえる都市空間の形成 ○安全で快適に暮らせる居住環境の創出 ○地域住民が集い、楽しめるコミュニティ空間の充実	自然環境の保全に対する満足度	単位：pt	-0.06	H21	0.01	H27	0.027	H27
	居住人口	単位：人	27,173	H21	27,800	H27	27,635	H27
	地域交流センター利用件数	単位：件	1,456	H16	2,200	H27	2,938	H27
	土地区画整理事業地区内人口	単位：人	1,570	H21	-	H27	2,384	H27

高次都市施設「乙川地区地域交流センター」

地域交流センターを新たに整備したことにより、地域の活動が活性化した



整備前 → 整備後




凡例

- 都市再生整備計画 (Red line)
- 鉄道 (Blue line)
- 都市計画道路 (改良済) (Black dashed line)
- 土地区画整理事業区域 (Orange outline)
- 基幹事業 (Yellow box)
- 提案事業 (Blue box)
- 関連事業 (Dashed box)

縮尺 1:25,000


下水道

公共下水道事業により、地域の都市基盤整備が推進された



高質空間形成施設「河川修景施設整備事業」

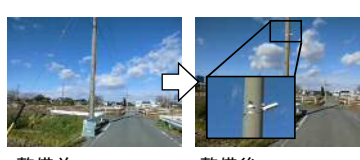
河川の修景整備(稗田川左岸の2箇所(飯森橋及び大川橋付近)において、ベンチ・照明灯・植栽等のある散策道を整備)により、水や緑とふれあえる空間づくりが図られた



整備前 → 整備後

地域創造支援事業「地域防犯施設整備事業」

防犯LED灯の新設により、地域の安全性向上が図られた



整備前 → 整備後

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・住環境整備とあわせて河川沿いの高質空間形成施設の整備を図り、自然環境の保全に対する満足度向上につながったが、土地区画整理事業地区内の未整備箇所の都市基盤整備を推進し、住宅地の質的向上を図る必要がある ・河川沿いの高質空間形成施設の整備により、地区の魅力や気運が高まり、アダプトプログラム登録件数の増加につながった ・土地区画整理事業により、地区内における(都)環状線の暫定2車線相互通行が可能となり、地域間の連絡性が向上したが、交通量の増加に伴い渋滞区間が発生しているため、(都)環状線の早期完全供用による更なる連絡性の向上及び渋滞区間の解消が求められている ・土地区画整理事業等の都市基盤整備と一体的に地域交流センターを整備することにより、地域交流センター利用件数の増加につながった
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源の活用により、地域住民の交流促進や人口定着に向けたPR促進を図る ・地域住民等との連携により、協働での清掃活動、イベント開催等を行う ・土地区画整理事業等の都市基盤整備の早期完了を目指す ・イベントの実施や地域の自主的な活動への支援等により、地域住民の交流促進を図る ・土地区画整理事業等の早期完了により、住宅地の質的向上を図る ・関係機関との調整を促進し、(都)環状線の早期完全供用を図る